

体験型プログラム 『理数科サイエンスリサーチ』 対象：理数科2年生

今年度も理数科サイエンスリサーチ（東京・筑波研修）を平成30年8月2日、8月3日の2日間で行います。本事業の目的は、最先端技術に触れることで、生徒の知的な好奇心および科学的探究心、高い志を育てることを狙いとしています。また、将来の日本を担う科学者としての知識・技術・倫理観をバランスよく伸張させるとともに、技術の発展と環境保護の両面から現代及び未来に関わる諸問題に主体的に取り組む姿勢を培う機会となればと考えています。

◎昨年度の実施内容

- (1) 実施日 平成30年度7月31日（月）、8月1日（火）、8月2日（水）、8月3日（木）
- (2) 研修先 高エネルギー加速器研究機構 サイバーダイナミクススタジオ
 農研機構 国土地理院地図と測量の科学館
 土木研究所 物質・材料研究機構
 JAXA 筑波宇宙センター (独) 産業技術総合研究所地質標本館
 日本科学未来館 (独) 産業技術総合研究所サイエンススクエア

(3) 実施内容

月日（曜）	時刻	研修場所
7/31 （月）	7:30	学校出発
	8:30	福岡空港着
	11:40	羽田空港着
	14:00～16:00	高エネルギー加速器研究機構
	16:30～18:00	サイバーダイナミクススタジオ
	18:15	宿舎着
8/1 （火）	8:30	宿舎発
	9:00～11:30	農研機構
	13:15～14:45	国土地理院 地図と測量の科学館
	15:00～16:00	土木研究所
	16:00	宿舎着
8/2 （水）	8:50	宿舎発
	9:00～11:30	物質・材料研究機構
	12:30～14:45	JAXA つくば宇宙センター
	15:00～16:45	(独)産業技術総合研究所 地質標本館・サイエンススクエア
	18:20	宿舎着
8/3 （木）	8:30	宿舎発
	10:00～13:00	日本科学未来館
	15:30	羽田空港着

	19:05	福岡空港着
	20:30	学校着

(4) 生徒の感想

自分が将来進んでいきたい分野を少し理解することができ、将来のビジョンをある程度固めることができた。研修中に訪れた研究所の話聞くにつれて、理解が深まっていくことが実感できた。

訪れた分野に対してすべて興味があったわけではないが、実際に体験し学ぶことで、研究が私たちの生活にどれだけ役立ち、造る側の熱意がどれだけこもっているのかを知り、感銘を受けた。確かに研究職は成果を出さなければならないが、その先にあるやりがいを知り、とても興味が湧いた。

1つ研修先で聞いた話や技術が別の研修先でも話され、使われていることがとても多く、技術の向上や学問の理解はもちろん、人とのつながりが科学には必要不可欠であると感じました。

現代社会で様々な形の科学が活用されていることを知り、今高校で学んでいる基礎知識とそれを応用する基礎力を身に付けて、大学進学し更に発展させていけるようにしていきたい。

(5) 生徒アンケートの結果

この研修について以下の問いに当てはまるものを選びなさい。

	Aあてはまる	Bややあてはまる	Cややあてはまらない	Dあてはまらない
①科学への興味関心が向上した。 (興味関心の向上)	86%	14%	0%	0%
②大学への進学意欲が向上した。 (進路意識の向上)	67%	31%	3%	0%
③自身の将来を考える良い機会となった。 (職業観の明確化)	75%	22%	3%	0%
④学習への意欲が向上した。 (学ぶ意欲の向上)	50%	42%	8%	0%

(6) 活動の様子

高エネルギー加速器研究機構研修



サイバーダイナミクススタジオ研修



農研機構研修



国土地理院研修



土木研究所研修



